

第 50 回 技術士全国大会(札幌・北海道)のご案内

大会テーマ

共創の大地・北海道から始まる技術士の挑戦 ～ミライの豊かさを実現するために～

主 催：公益社団法人 日本技術士会

事務局：公益社団法人 日本技術士会北海道本部

第 50 回技術士全国大会(札幌・北海道)実行委員会

(TEL：011-801-1617 FAX：011-801-1618)

期 間：2024 年 10 月 4 日(金)～10 月 7 日(月)

会 場：札幌パークホテル(札幌市中央区南 10 条西 3 丁目 1-1)

◆大会プログラム

日程	時間	行事名／内容
10 月 4 日(金)	未定	専門会議・連絡会議・青年の集い
	18：00～20：00	ウェルカムパーティー(サッポロビール園)※
10 月 5 日(土)	8：30～ 9：30～12：15	受付開始 分科会 ・第 1 分科会(技術者倫理) 「技術者よ、大志を抱け ～過去から現在そして未来へ～」 ・第 2 分科会(防災) 「北海道から発信する大規模災害の備え」 ・第 3 分科会(脱炭素) 「ゼロカーボンの実現に貢献する北海道の取り組み」 ・第 4 分科会(ミライの技術者) 「～キラキラ☆技術士まし×2 大作戦！～」
	12：15～13：30	昼食
	13：30～14：30	大会式典 ・開会挨拶 ・式辞 ・来賓祝辞 ・大会宣言
	14：40～15：00	分科会報告
	15：15～16：45	記念講演 「地域に貢献する経営～地域産業エコシステム」 株式会社セコマ 代表取締役会長 丸谷 智保 氏
	18：00～20：00	交流パーティー
	8：50～17：00	パートナーズツアー(札幌近郊)※
	未定	展示コーナー：協賛企業等パネル展示
10 月 6 日(日)	8：30～18：00	テクニカルツアー A(日帰り)：札幌市内～ウポポイ(民族共生象徴空間)※
	8：30～16：40	テクニカルツアー B(1 泊 2 日)：札幌市内～ウポポイ(民族共生象徴空間)※
10 月 7 日(月)	8：10～18：45	テクニカルツアー B(1 泊 2 日)：室蘭・伊達方面※

※はオプション行事です。

注)上記内容は事情により変更することがあります。

◆ 2024 年 7 月より申込開始予定

◆分科会

第 1 分科会 技術者倫理	技術者よ、大志を抱け ～過去から現在そして未来へ～ ◆意味のある生を生きるための技術者倫理 北海道大学大学院文学研究院 教授 蔵田 伸雄 氏 ◆新技術士倫理綱領と創作事例紹介 ～志向倫理で明るく前向きに～ 日本技術士会統括本部倫理委員会 委員長 塩原 亮一 氏 ◆Boys, be ambitious 現在に残る志 ～そして未来へ 日本技術士会北海道本部倫理委員会 委員長 富澤 幸一 氏 講演者 庭田 博 氏 ・ 長谷川 直久 氏 ・ 小川 直仁 氏 ◆総括
第 2 分科会 防災	北海道から発信する大規模災害の備え ◆巨大地震による津波災害に備える 北海道大学大学院理学研究院地震火山研究観測センター 特任教授 谷岡 勇市郎 氏 ◆積雪寒冷地・北海道における近年の冬期災害 北見工業大学工学部社会環境系 准教授 白川 龍生 氏 ◆総括
第 3 分科会 脱炭素	ゼロカーボンの実現に貢献する北海道の取り組み ◆ゼロカーボンとデジタルが創る地域の未来 北海道 総合政策部 次長 甲元 信宏 氏 ◆北日本の脱炭素化への貢献 ～苫小牧港のチャレンジ～ 苫小牧港管理組合 専任副管理者 佐々木 秀郎 氏 ◆自社 ZEB によるゼロカーボンへの取組について ダイダン株式会社 イノベーション本部 技術研究所 基盤技術課 課長代理 北村 俊貴 氏 ◆雪冷熱を利用したデータセンターと排熱を活用した地域振興について 株式会社 雪屋媚山商店 番頭 本間 弘達 氏 ◆総括
第 4 分科会 ミライの技術者	～キラキラ☆技術士まし× 2 大作戦！～ ◆北海道本部の取組紹介 社会活動委員会 技術者のミライ研究委員会「これからの技術者がキラキラするために」 青年技術士交流委員会「キラキラと輝く若い技術者たちの活動」 社会活動委員会 エンジョイ・サイエンス研究委員会 「子どもも大人も目をキラキラさせる理科実験」 ◆全国の取組紹介 統括本部 男女共同参画推進委員会「技術士として輝く女性を増やすために(仮)」 四国本部 青年技術士交流委員会「地域貢献を通じて成長するための活動」 中国本部 青年技術士交流委員会「部門を超えてワクワク学ぶ理科教室」 ◆意見交換 キラキラ☆技術士として活躍するために、キラキラ☆技術士が育つために ◆総括 ※アプリで会場の皆様から意見を受付けます。可能な方はスマートフォンをご持参ください。

◆オプション行事

ウェルカムパーティー	
10/4(金)	サッポロビール園(18:00～20:00) ジンギスカン・焼き野菜等 食べ飲み放題

札幌の代表的なビール園の 1 つ。ビール博物館があり、札幌で始まったビールづくりの歴史を楽しく学ぶことができます(入場無料、プレミアムツアー(有料)はホームページから要予約)。博物館は 1890 年建造の元製糖会社。博物館とサッポロビール園開拓使館は、明治時代の貴重な建造物として北海道遺産に指定されています。見学終了後、サッポロ黒ラベル(生)や清涼飲料水を試飲することができます(有料)。また、園内には売店もあり、北海道の形をしたビール園オリジナルジンギスカン鍋などのお土産を買うことができます。

パートナーズツアー 最少催行人数 20 名 参加費 11,000 円程度(税込)	
10/5(土)	札幌パークホテル(8:50 出発)→エスコンフィールド北海道・クボタアグリフロント(9:30～11:40)→昼食(TruffeBAKERY BAKERY & RESTAURANT: 洋食メニュー 11:40～12:40)→三井アウトレットパーク(道産品ショップ 13:00～13:40)→北海道開拓の村(14:20～16:00)→札幌パークホテル(17:00 着)

北海道の開拓の歴史から、北海道日本ハムファイターズの本拠地であるエスコンフィールド HOKKAIDO とそこに隣接する施設など、北海道の今昔を感じることでできるツアーとなっております。皆様のご参加をお待ちいたしております。

【エスコンフィールド北海道】

なにかと全国的に話題となる施設を散策します。日本初となる開閉式屋根により実現した天然芝球場、360°回遊型コンコースなど色々な日本で初めてを見学します。



【クボタ アグリ フロント】

エスコンフィールド北海道に隣接する施設で「食と農業」に関する課題やこれからの農業のあり方など、未来のために我々ができることを学べる場所です。最先端の植物栽培の様子などを見学する 30 分ほどのツアーに参加します。



写真提供: (株)クボタ

【北海道開拓の村】

明治から昭和初期にかけて建築された北海道各地の建造物を、移築復元・再現した屋外博物館です。開拓当時の生活を体感、理解し開拓時代の人たちの知恵と努力を見ることができます。



写真提供：公益社団法人北海道観光振興機構

テクニカルツアーA(日帰り) 最少催行人数 20名 参加費 15,000円程度(税込)	
10/6(日)	札幌パークホテル(8:30 出発)→雪冷熱エネルギー供給システム(8:45~9:45)→北海道開拓の村(10:30~11:45)→昼食(アークシティホテル:洋食メニュー 12:10~13:00)→ウポポイ(民族共生象徴空間 14:10~15:40)→新千歳空港(希望者下車 16:40)→札幌パークホテル(18:00 着)

積雪寒冷地に位置する道都札幌市ならではの雪冷熱エネルギーの活用から北海道開拓、アイヌ文化など北海道ならではの場所を見学できるツアーとなっております。皆様方のご参加をお待ちいたしております。

【都心北融雪槽活用雪冷熱エネルギー供給システム】

札幌市では、トラックの雪運搬距離を短縮し、その運搬エネルギーの削減(省エネ)と排気ガスによる大気汚染防止、雪堆積場の河川汚染等の改善を図るため都心部の限られた空間に利便性の高い雪処理施設を設置しており、この施設を見学します。



【北海道開拓の村】 雨天時は北海道博物館
(※ 10/5(土)パートナーズツアーに参加の方は、希望により北海道博物館見学に変更可)

明治から昭和初期にかけて建築された北海道各地の建造物を、移築復元・再現した屋外博物館です。開拓当時の生活を体感し、理解し開拓時代の人たちの知恵と努力を見ることができます。

【ウポポイ(民族共生象徴空間)】

アイヌ民族は日本列島北部周辺、とりわけ北海道の先住民族です。ウポポイは、日本の貴重な文化でありながら存立の危機にあるアイヌ文化の復興・創造・発展のための拠点となる施設です。アイヌ語で「(大勢で)歌うこと」を意味します。



写真提供：公益財団法人アイヌ民族文化財団

テクニカルツアーB (1泊2日) 最少催行人数 20名 参加費 43,000円程度(税込) (2名1室の場合の1名あたり料金)	
10/6(日)	札幌パークホテル(8:30 出発)→雪冷熱エネルギー供給システム(8:45~9:45)→北海道開拓の村(10:30~11:45)→昼食(アークシティホテル:洋食メニュー 12:10~13:00)→ウポポイ(民族共生象徴空間 14:10~15:40)→洞爺湖温泉(絶景の湯宿 湖畔亭 16:40 着)→(自由時間)→夕食会(19:00) ※ウポポイ(民族共生象徴空間)まではテクニカルツアーAと同工程
10/7(月)	湖畔亭(8:10 出発)→ユーラス伊達(9:00~10:00)→日本製鋼所 M&E(10:30~12:00)→昼食(海鮮ピアホール汽笛:海鮮丼+室蘭やきとり 12:10~13:00)→苫小牧 CCS 実証試験センター(14:30~15:30)→道の駅「サーモンパーク千歳」(16:20~17:00)→新千歳空港(希望者下車 17:20)→札幌駅北口(希望者下車 18:30)→札幌パークホテル(18:45 着)

札幌市は、人口約 200 万人を擁する東北以北で最大の都市でありながら積雪寒冷地で年間累積降雪量が 5m にも達する稀有な都市です。「ゼロカーボンの実現に貢献する北国の技術」をテーマにその特徴的な施設の見学を企画しました。北海道本部で自然エネルギーの研究委員会所属の技術士がご案内します。皆様方のご参加をお待ちいたしております。

※ 10/6(日)の見どころは、テクニカルツアー A を参照ください。

【ユーラス伊達風力発電設備群】

ユーラスエナジーグループは、1987 年に米国で風力発電事業をスタートさせて以来、30 年以上にわたり、世界各国で再生可能エネルギーの発電事業に従事しています。ユーラス伊達北小金ウィンドファームでは、風力発電設備を見学します。



【日本製鋼株式会社 M & E】

水素社会の実現に向けて、燃料電池自動車に水素を供給する水素ステーション用の鋼製蓄圧器 (HyST300)、水素を常温・低圧で安全に貯蔵可能な水素吸蔵合金を用いた水素貯蔵設備などを見学します。また、大正 7 年に開設され、日本刀を作る「作刀」を行ってきた瑞泉鍛刀所も見学する予定です。

【苫小牧 CCS 実証試験センター】

北海道苫小牧市における CCS 大規模実証試験、CO₂ 貯留適地調査事業等の 4 つの事業を実施しています。苫小牧 CCS 実証試験では、海底下への 30 万トンの CO₂ 貯留を無事達成し、CCS が安全かつ安心できるシステムであることを知ることができます。



【道の駅「サーモンパーク千歳」】

サーモンパーク千歳は、北海道が誇るサーモンの魅力や北海道の食文化・観光資源を日本・世界へ発信する施設です。市の中心を流れる千歳川は、豊かで清澄な水資源として多くの食材を育んでいます。生産者の方々が丹精込めて育んだ上質な食材と北海道ならではの食文化とこの地の人の温かさに触れ、「非日常のひととき」をお過ごしください。



宿泊場所：洞爺湖温泉ホテル湖畔亭
写真提供：ホテル湖畔亭